

勿来高だより

平成27年6月5日

NO.26

学校の24時間

勿来高等学校長 阿部 武彦

朝早く、6:00前に学校に来ることがある。特に、6月になると4:00過ぎには夜が明けていくので、鳥の声と共に起き出して、植田の火力発電所の周りを走りに行く。岩間の海岸から勿来の海岸を遠く目にして、早々と泳ぎだしているサーファーの車の列を通り過ぎ、植田の町並みを横目にアパートに帰り、朝食もそこそこにして学校に来るのである。

学校は、闇の世界の中から、大きな扉をくるりと開け放して、朝日の中に輝いている。用務員さんがきて鍵を開けるまで、校庭のほうへ出てしばらく歩こうと体育館へ向かうと、中庭のつつじとムラサキツユクサの花が色鮮やかに目に入ってくる。そのまま校庭に出ると、グラウンドではサッカー部の部活動の諸君が昨晚馴らしたレーキの後ろが朝露に黒ずんでいる。そのたたずまいが、何とも言えず、とても美しいと感じるのだ。レーキの後ろを汚さないように回り道をして、テニスコートやソフトボールのコートへ出て、蛭田川の様子なども見ながらぐるりと東門まで戻ってくる。そのころになると、学校の鍵は解錠し、靴を履き替えて校長室まで進んでいく。

中庭の魚たちの群れは、松崎先生の蒔くパンのくずをめがけて渦を作り、大きなナマズがひょいと姿を現して、大きなパンくずを丸呑みする。用務員さんがやかんに水をかけて、ガスに火をつけると、お湯が沸き、一日の事務室が走り出す。

7:00過ぎには続々と先生方が集まってくる。早いうちに生徒の姿もちりりちりりと見え始める。先生方はそれぞれに一日の準備に余念がない。植木鉢の植物に水をやって、わいたお湯でお茶を入れ、新聞を読み始める。それでもまだ、7:30分前なのだ。

8:00から打ち合わせ、8:15に職員打ち合わせ、その後、信号機のところで登校指導、8:30から読書の時間、遅刻の生徒たちも集まってきて、8:55分から授業が始まる。

校長の仕事は、8割が文書決裁である。その他様々な懸案事項の説明を受けながら、判断をして指示をして1日が過ぎていく。12:45分からは、生徒の昼食タイム。その後、15:15分まで授業があり、清掃を行い、SHRの後、放課後となっていく。放課後は、部活動やボランティア活動などがあり、17:30頃には夕焼けの中を一回りして、18:00から19:00の間に帰宅となる。コウモリが飛ぶ黒い影を時折見ることがある。どこかに多くのコウモリが巣くっていると考える。夜のとぼりが降りて闇が地上に満たされると、学校では、教頭先生が最後の戸締まりをして、20:00以降は、校門の門扉も閉まり、夜の眠りにつく。

生徒たちは、アルバイトの子たちもいて、家に着くのは20:00を過ぎるのだろうか。翌日の準備や家族との団らんの後、風呂や学習を行い、それぞれが次の日へと向かっていく。

第二棟の避雷針にカメラを配置し、24時間の学校を写してみたらどうだろうか。狸やハクビシンが歩く姿も見られるのだろうか。

68年の歴史がこの学校にはあるので、その時代時代の生徒たちが追い求めた喜びや栄光や成功と挫折や敗北感や悔恨を密かに抱きながら、さらには、今の生徒たちが求めて止まない夢や向上心や達成感をそっと支えながら夜の学校は眠りにつくのだ。そして、次の日にはもう目覚めていく。

構築と解体の無限の繰り返し。創造と諦念の無限の交換。

これが、学校の24時間の本当の姿である。



勿来海岸清掃ボランティア活動

本校生による勿来海岸清掃を5月8日(3年1組)、5月15日(3年2組)に、各クラス全生徒で行いました。海岸を訪れた方々に気持ちよく利用していただくために、漂流物、木片等多くのゴミを回収することができました。

天候にも恵まれ、生徒たちは楽しく清掃活動を行うことができました。



今後も、2年生、1年生と海岸清掃等のボランティア活動を継続的に行うことにより、少しでも地域に貢献できればと思います。



講演会「ネットいじめを防ぐために」

「ネットいじめを防ぐために」と題して、4月28日に、全国webカウンセリング協議会理事長の安川雅史先生を講師に講演会を開催しました。

安川先生は、ネットいじめ、いじめ、不登校、ひきこもり、青少年犯罪問題に取り組んでおり、当日は、多数の事例をもとに“命の大切さ”を軸にSNSの利用による様々な問題点について力強く講話していただきました。

今回、講演いただいた内容は、今後の携帯電話の使用について深く考え

るよい機会となりました。

平成26年度 学校評議員による評価

1 「学校経営・運営ビジョン」と校内体制について

- ① 学校経営運営ビジョン、校内組織体制、保護者への働きかけも立派だと思う。計画を着実に実行すること全職員で続けて欲しい。先生からは生徒のよい面、低い(悪い)面がよく見える。低いから指導するのである。指導研究の輪を拡げてよい点を見習って欲しい。
- ② 校内組織体制に浸透しており、積極的に推進していると思う。
- ③ 評価活動はよくできていると思う。

2 「学校経営・運営ビジョン」の展開と自己評価について

- ① 各部署並びに先生個人からの評価と反省・要望の内容について、理解できる。自分の担当部署だけでなく学校全体に目を向けて協力することが必要である。
- ② 評価活動における自己評価項目は、多岐にわたり次年度につながると思う。
- ③ 自己評価について、適切に行っていると思う。

3 広報とアンケート等について

- ① 学校だよりは地域でも回覧されており、地域の小中高校が情報提供していることが分かる。生徒による学校説明会や幼稚園での絵本読み聞かせ、ボランティア活動等を継続して行っていることに感心する。交通安全全国表彰は地道な活動への褒美であり、大いに賞賛する。
- ② 広報について、学校のホームページや町内の回覧板、アンケートなどで広く公開されていると思う。
- ③ 地域へ学校だより等を配布するなどして、情報を提供している。アンケートの結果も公開し、学校運営の参考としている。
- ④ 回覧板等で学校だよりを閲覧することは、とても良いことだと思う。

4 取組状況全体について

- ① 校長だよりを先生方に時宜を得たメッセージを配布することにより、校長と全職員、全生徒が同じ方向を向いて努力していると思う。
- ② 教職員の日々の努力が少しずつではあるが、前進していると思う。
- ③ イエローカードの導入で、学校の雰囲気も以前より良くなっているように感じる。教職員の活動がしっかりなされている成果だと思う。
- ④ まだ一部の生徒や保護者には理解されていないところもあるようだが、数年前よりはるかに改善されていると思う。

※ 平成26年度、学校評議員の方々に評価していた内容について真摯に受け止め、よりよい学校づくりに生かしてきたいと思えます。

◎ 平成27年度の学校評議員は、横山元雄さま、赤津伸一さま、長瀬智恵子さま、片桐仁子さま となります。